

# おかのうえ D.I.O TABLE

できるだけ いろんな人と おしゃべり


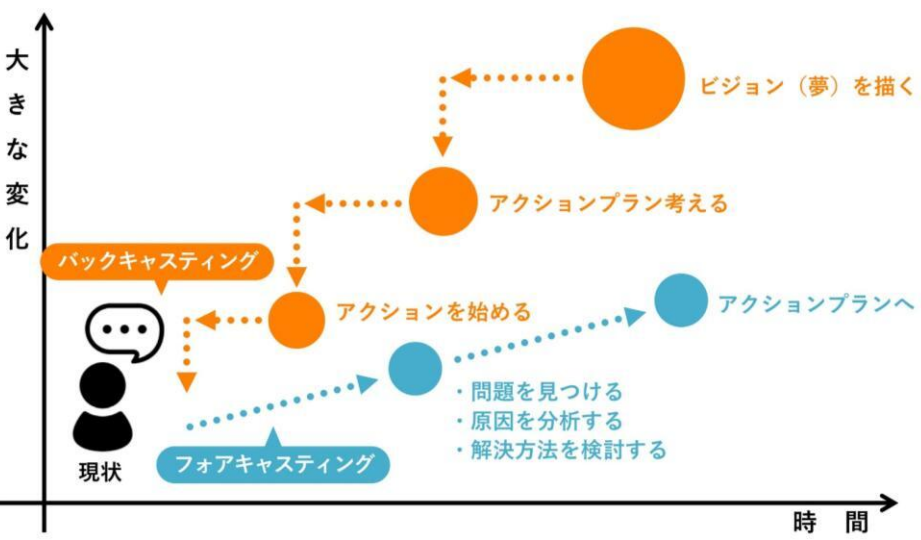
レポート vol.02

## 開催概要

日時： 令和7年11月30日（日）10:00~12:30  
 場所： 平山台健康・市民支援センター 1階エントランス  
 主催： 日野市  
 協力： studio - L



第2回「おかのうえ D.I.O TABLE」が開催され、14名の市民のみなさんが参加されました。本ワークショップでは、平山地域の未来を、平山台健康・市民支援センター（※以下、センター）のこれからを考える目的で2カ年を通して実施されます。第2回では、バックキャストという手法やヒアリング結果の共有があり、グループワークでは平山地域の理想の暮らしを実現するためにどんな取り組みがどこで実現できそうか考えました。このレポートでは当日の様子をお伝えします。

プログラム	前回のふりかえり	情報提供 ①「バックキャストとは」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>✎ はじめに</li> <li>✎ 前回のふりかえり</li> <li>✎ 情報提供「①バックキャストとは／②ヒアリング調査から」</li> <li>✎ 感想共有</li> <li>✎ ミニゲーム</li> <li>✎ ワーク「平山台の未来をつくる取り組みを考えよう」</li> <li>✎ 共有</li> <li>✎ 今後に向けて</li> </ul>	<p>日野市より早くとも令和10年度以降に跡地活用の準備が開始されることなど、事業のスケジュールや財政状況について話がありました。その後、平山地域での理想の暮らしについて、5~30年後に自分がどのように暮らしたいか、どこでどんなことをして過ごしているのかを想像しました。どのテーブルからも<b>住民同士の交流や自分たちの楽しみや学びを共有する文化活動が地域で行われていること</b>が共通しており、「日野市地域共創プラットフォーム*」にも近い意見が複数寄せられました。</p>  <p>*日野市地域共創プラットフォーム 市民から様々な声やアイデアを集めて可視化し、地域課題の解決やアクションにつなげるためのオンラインプラットフォーム</p>	<p>目の前の課題をどう解決するか考える問題解決型の手法「フォアキャスト」も重要ですが、センターの跡地活用の方針を検討するにあたり、長期的なビジョンをもとに平山地域の暮らしについて考えていく必要があります。そこで、ビジョンを描き、逆算しながら具体的な取り組みを検討していく手法「バックキャスト」を取り入れながら、<b>より長期的な視点で平山地域の未来の将来像をもとに、センターがどうあるべきかをみなさんと一緒に考えていきます。</b>前回の話し合いのテーマ「平山地域での理想の暮らし」で描いた将来像を実現するために、「こんな取り組みがあるといいな」というアクションプランを想像しながら、今から小さく始められる最初のステップを考えていきましょう。</p>	<p><b>バックキャストの考え方</b></p> 

## 情報提供②「ヒアリング調査から」

7月から10月にかけて平山地域に住んでいる住民や、センターを利用している利用者や団体、センター周辺の公共施設関係者など29名にヒアリング調査を実施しました。

### 【周知イベント in 平山台ファミリー花火会】

9月14日(日)にセンターのグラウンドで開催された平山台ファミリー花火会にて事業の周知イベントとしてヒアリング調査の結果を展示しました。来場者には調査結果の中から共感する意見にシールを貼ってもらいました。



周知イベントの様子

### 【ヒアリング結果】

#### <平山地域の魅力・良いこと> ※図1

平山地域の魅力として、自然の豊かさを感じられることや、住環境の良さに関する内容が多くありました。また、住み心地の良い環境から、近年の若い世代の入居が増加していること、地域のつながりがあることも挙げられます。平山地域周辺に大学が多いため、大学や学生との連携の可能性も魅力として挙げられました。

<図の見方> 円のサイズ：ヒアリング調査で多く出された意見  
線の本数：周知イベントで共感が多く集まった意見



#### <平山地域の課題・不安だと思ふこと> ※図2

課題については、坂道が多いなどの地形による生活の不便さや、地域に買い物ができるお店や飲食店が少ないといった意見が多く挙げられており、周知イベントでも共感が多く集まりました。また、若い世代の入居が増えている一方で、世代間の交流など、ご近所づきあいの変化が課題として挙げられました。



#### <センターの可能性> ※図3

地域活動の拠点として、つながりや交流の場を持ちたいなどの意見が多く、中でも子どもや若い世代が利用しやすい場やしくみについても意見がありました。また、災害時の防災拠点としての利用に関する意見が多くあり、共感も集まりました。周知イベントではキャンプ場のようなアウトドアが楽しめる場所に共感の声が多く集まりました。そのほかは、飲食や、一息つける場所として自由度の高い屋外空間があると良いといった意見にも多く共感が寄せられました。



## 【他地域の事例紹介】

周知イベントでは、ヒアリング調査の結果に合わせて、関連する全国の取り組みや施設など19事例を展示しました。事例の中から共感が多く集まった4つの事例を紹介します。

### 喫茶ランドリー（東京都墨田区）

- ・喫茶スペースとランドリーやミシンのある家事スペースからなる民間施設
- ・喫茶利用者がイベントを開いたり、家事をしたり自由に過ごすことができる
- ・喫茶のフードメニューに地域の人が開発したレシピが採用されることもある



### アーバン・オーチャード（アメリカ、ロサンゼルス）

- ・設計段階から住民が関わり、多目的に利用できる
- ・遊歩道や果樹園、自然の遊び場や教育農園など、自然を通じた住民同士のつながりが生まれやすい設計になっている。



### 防災カフェ（東京都羽村市）

- ・東京都羽村市での公園をまちの居場所にする取り組み
- ・公園の砂利を使った浄水体験、公園の木花の葉を使った茶葉づくり、防災食を食べる体験や防災トイレの体験などを住民自らが企画し、定期的実施している



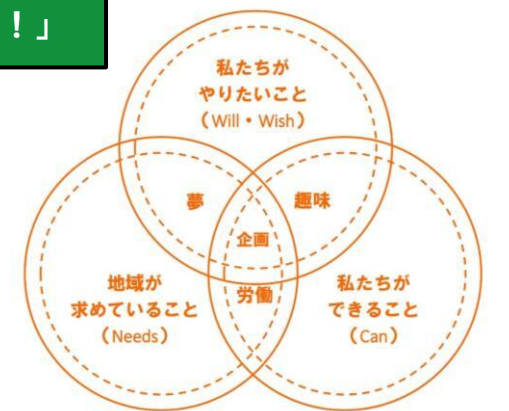
### みんなのうえん（大阪府住之江区）

- ・住宅街の空き地を活用した市民農園の取り組み
- ・農園近くの空き家を使わせてもらい、農や食をテーマにした勉強会やワークショップ、視察といった学びの体験機会のほか、地域と連携したイベントも開催している



## ミニゲーム「テーブル対抗！アイデア出し！」

将来像を実現するための持続的な取り組みを考えるには、3つの大事な要素があります（左図参照）。この3つを掛け合わせた取り組みは継続しやすいと言われています。ミニゲームでは、テーブル対抗でアイデア出しゲームを行いました。「自分の趣味や好きなこと、楽しいこと」を書いたカードと、「地域の課題」が書いてある地域カードを組み合わせてどんなことができそうか大喜利のように取り組みアイデアをできるだけ沢山出し合いました。



## 平山の未来をつくる取り組みを考えよう

前回出された平山地域の理想の暮らし（将来像）を実現するためには具体的に「どんな取り組み」があるといいか、その実施場所も含めてアイデアカードに書き出し、テーブル内で共有しました。その後、前回出された5つの将来像にどう紐づくかを整理しました。最後にみんなで各テーブルを見て回り、自分もやってみたいと思うアイデアに「私もやりたい！」シールを貼ったり、共感するアイデアに印をつけたりしました。次のページで3つのグループのワーク結果を紹介します。



# 平山地域にあると良い取り組みアイデア

<表の見方> ( ) の中の数字は近いアイデアの数。

将来像	取り組み	実施できそうな場所	やりたい！シールの数	補足や追加コメント
まちに集える拠点と機会があり 外出したくなるまち	地域の自然環境を紹介し、交流を生むビジターセンター (2)	センター (屋内)	☆☆☆☆☆☆	トイレ機能を活かす、ハイキングコースの中継地点や地域のハブにもなる
	地域活動の拠点となる集会所施設・私設公民館 (3)	センター (屋内)、公園、空き家	☆☆☆☆☆	災害時は避難施設に転用/カフェが仕事にもつながる
	空き家やコンテナを活用した地域の図書館	センター (屋内)、空き家	☆☆☆☆	寺子屋、飲食などの提供も/みんなが読まなくなった本をシェア
	子どもも大人も気軽に集まり好きなスポーツができる場所 (3)	センター (グラウンド)	☆☆☆	バスケ、テニス、野球、タッチラグビー、タッチアメフトなど
	ゲームソフトで楽しんだことを実際の場所で体験する地域クエスト	公園、道端	☆☆☆	
	日替わりでお店の人が変わるカフェや食堂	センター (屋内)、空き家	☆☆	料理専門の学生が提供しても良い
	オープンカフェ	センター (屋内)	☆☆	入りやすい雰囲気
	共通の趣味を持つ人が出会える場づくり	センター (屋内)	☆☆	
学びや楽しさが巡り 人が集まるまち	プールを養殖場に転用したつりぼり	センター (プール)	☆☆	その場で調理して食べることもできると良い
	平山ロマンチック遊歩道づくり	駅と平山地域を結ぶところ	☆☆☆☆☆☆	道路脇を歩道とし、平山地域と駅をつなぐショートカットの道となる
	多摩の自然を楽しむハイキング道をつくる	公園、道端	☆☆☆	平山城址公園を中心に堀之内里山、長沼公園をつなげる
	老若男女が集まれるお店を OPEN	京王平山ショッピングモール	☆☆	だがし屋、スナック、カフェなど
ハレとケを楽しみ 安心して生活できるまち	みんなで外遊び	センター (グラウンド)、公園	☆☆	木でブランコ、ターザン、ハンモック、やきいもなど
	泊まって学べる、防災キャンプなど防災訓練 (3)	センター (グラウンド)	☆☆☆☆☆☆	炊き出しなどの演習や、そのほか催しも行う
	みんなでお楽しみ屋外映画上映	センター (グラウンド)	☆☆☆	
ペットも人もつながり 食を通して 健康になるまち	地域のための人が集うお祭り広場、交流の場づくり	センター (グラウンド)、公園	☆☆☆	音楽会や落語会、餅つきやどんと焼きなど昔ながらの行事開催
	地域に開けた市民農園 (2)	センター (グラウンド)	☆☆☆☆☆	畑からつながる交流づくり、芋ほり会の継続
	大人や高齢者も自然を学べる学校	センター、公園	☆☆☆	食、農、料理、素材の活かし方、生活の知恵の伝承、フィールドワーク
	里山プロジェクト「かがくの里」	平山城址公園	☆☆	都民向けの自然体験、仕事にもつながる
	ドッグラン&ふれあいおさんぽボランティア	センター (グラウンド)、公園、道端	☆	犬を飼ってみたい子どもたちが飼い主の方とお散歩に行く (犬を通じた交流)
	ドッグランカフェ	公園	☆	参加者は利用後に掃除をするなどみんなで管理する
	ひらやま焚火会や花火会の運営	センター (グラウンド)、公園	☆	焚火のできるまち、まきづくりをして山の資源活用、林間学校にもなる
楽しい活動を自ら生み出し 助け合える関係性のまち	四毒抜ききの食事会	センター (屋内)	☆	何を食べ、何を食べないか、四毒抜ききの食事を知る
	幅広い年齢層が集まれるコミュニティカフェ (3)	センター (屋内)、自宅	☆☆☆☆☆☆	子どもの見守りにもなり、子どもは遊びながら地域の人と触れ合える 駄菓子屋を併設し、夜は BAR
	仕事を頼みたい人、仕事をしたい人が集まるアウトドアカフェ	公園	☆☆	得意技をもっている人に会いに行く、得意技 MAP がある

【その他の意見】

多言語、多世代、多文化、ごちゃまぜで交流する場/同世代&先輩ママとおしゃべりする機会づくり/子ども食堂/湧水の活用/ポケットパークを活かした住民の触れ合いの場づくり/子どもが気軽に集まれる場づくり/誰もが過ごせる自然を活かした公園

## 取り組みアイデアの傾向やポイント



studio - L  
洪 華奈さん

それぞれのテーブルから、センターだけではなく平山地域全体を楽しむアイデアがいくつも出ていました。防災については楽しく取り組むアイデアが共通して出ており、飲食や気軽に集まれる場所、スポーツや音楽、自然や農などみなさんの楽しいことを共有する場についても多く意見が出ていました。  
センターの方向性を考えるにあたり、「飲食できる環境」や「自由度の高い空間」のニーズが高いと感じます。引き続き検討していきましょう。



グループワークのアイデアカード (一部)

## 次の日程と宿題

### 次の日程

2026年1月11日 (日)  
10:00~12:30

### 次回までの宿題

「やってみたい取り組みの参考事例を調べる」

